

中山間地域再生のカギ

自伐林業と
シンプルな木質バイオマス利用
全国に広がる「土佐の森方式」

自伐林業による新たな林業雇用
50万人と、その関連産業創出

自伐林業とは

自ら(山林所有者や地域)の山を自ら整備し、木材を出荷して収入を得る林業。

自立経営型の一般的な林業である

しかし、現在の日本の林業は

山林所有者や地域は、森林組合や業者に委託する、他者依存型林業一辺倒に。

一部の特定企業体だけによる林業になってしまった

その結果いびつな林業就業構造に

昭和30年代**45万人**存在した林業従事者が、一けた違う**5万人弱**にまで減少

中山間地域衰退の大きな要因に



土佐の森方式

自伐林業＋シンプルな木質バイオマス利用
＋地域通貨

地域システム化し、全国展開中

低投資で参入容易な地域分散型 & 地域循環型

逆転の発想によるシステムづくり

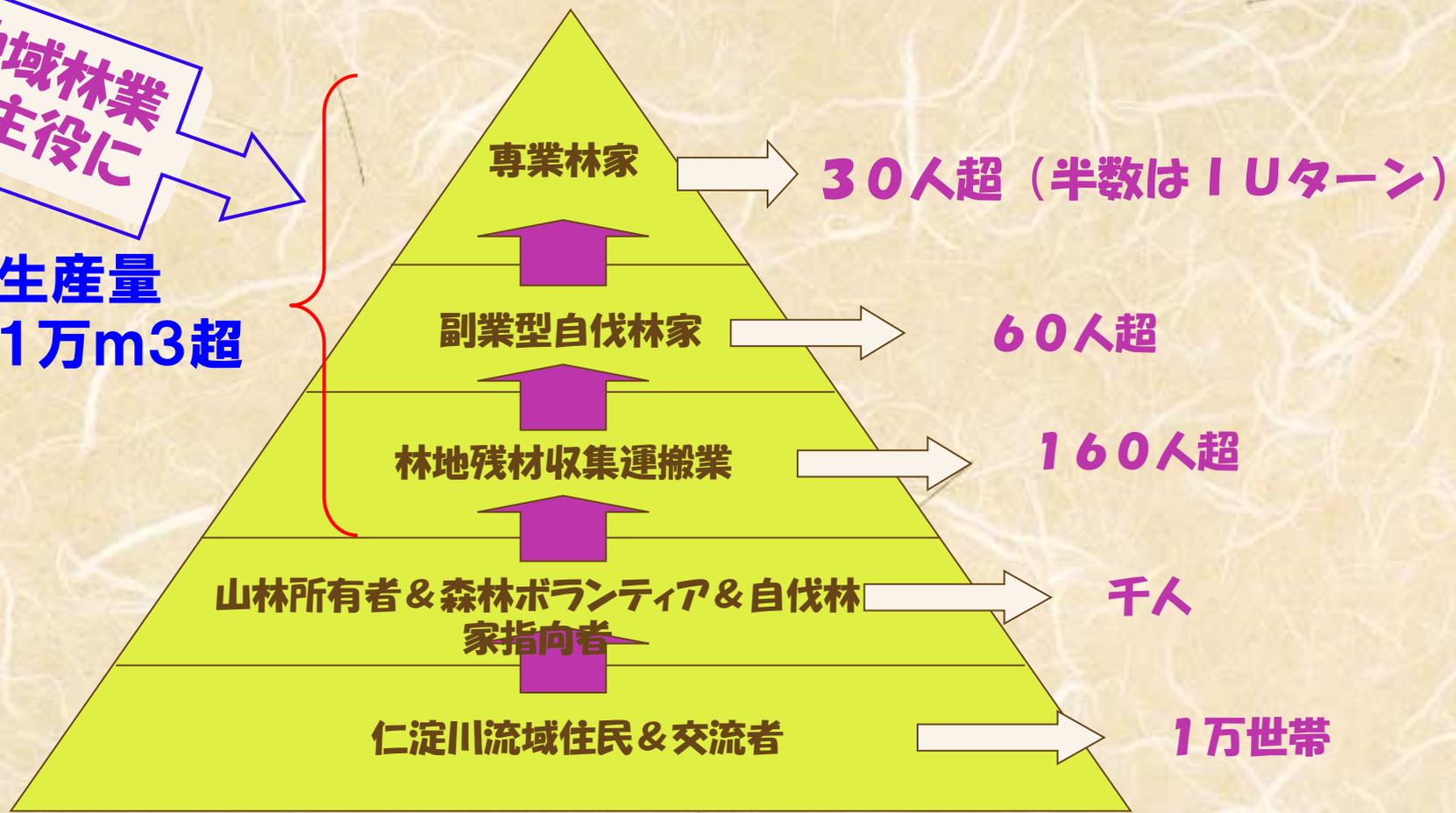


エネルギー利用のための
間伐材・林地残材の収集
システムとして開発

土佐の森方式&自伐林業推進は 本来の林業就業構造ピラミッドを再生

地域林業
の主役に

素材生産量
年間1万m3超



(高知県仁淀川流域では林業対応者が10倍に)

自伐林業による雇用創出力は、従来の請負型大規模集約林業の10倍以上

- 自伐林業は 100ha で持続的に
 専業自伐林家2~3人、副業型はそれ以上
- 大規模集約林業のモデル事業体では、高性能林業機械導入により
 1人1日10m³を目指している（林野庁の目標）
 4人1班故、1班で40m³
 1haの搬出材積を50m³とすると
 1日に約0.8ha間伐することになる
 年間250日稼働すると、1年間の間伐面積は200ha
 10年で同じ山に戻る（1サイクル）とすると2000ha必要
 要するに2000haで4人の雇用ということ
- 自伐林業方式だと2000haあれば40~60人の専業雇用、副業型だとそれ以上ということになる。（実際古くからの自伐林業方式導入の「吉野林業」では1,900haに山守66人雇用）
- 自伐林業家が多いドイツやオーストリアでは、日本の林業雇用の5倍あるのは、こういうことなのである。

従来林業（請負型の企業型林業） の展開では



高価な高性能
林業機械は大手メーカー &
海外企業

**既存大規模流通システムの維持
大手企業中心の仕組み**

一方、土佐の森方式の展開（仁淀川流域では）

自伐林家、
地域住民

原木市場や
地域製材所

地域工務店
等

薪ボイラー設
置事業所
等

地域収集土場
（木の駅）



自伐林業機械

- ・林内作業車（福岡県うきは市）
- ・軽架線（@20万円。すでに全国100セット以上販売）

- ・土場管理事業者が薪割機開発：特許も取得し販売へ
- ・丸鋸製材機開発（高知県南国市）

- 薪ボイラーメーカー
- ：新潟県の中小企業
- ヒット商品になりつつある

土佐の森方式をモデル化し全国展開すれば

自伐林家、
地域住民

50万人以上の
雇用創出

山の多目的活
用により
様々な商品開
発・販売

地域収集土場
(木の駅)

全国数千か所

すき間やマニ
アックな市場
の開拓

薪ボイラー設
置事業所
等

薪ボイラー数万台

自伐林業機械の開発合
戦が起きる

・林内作業車や軽架線
小型バックホー
×50万台

農産物直販所との協働化や
廃校利用が促進

・福祉事業との連動も
・地域コミュニティの場にも

新たな地域産業、地域流通
システムが湧き起る

高効率の薪ボイラーの開発
合戦が起きる

自伐林業が主業として成り立つと、山村資源を活用した多数の副業が湧き出てくる

地域循環をベースとした持続可能な、大きな地域産業が動き出す → 中山間地域再生のカギといえる

自伐林業方式の確立

～新たな森林経営モデルの開発・確立～

- **自伐林業方式とは**

山林の永続管理と、その山からの持続的な収入が担保された林業経営

- **自伐林業方式の種類**

- 1) 集落営林型**

集落の山林をまとめ、集落で経営

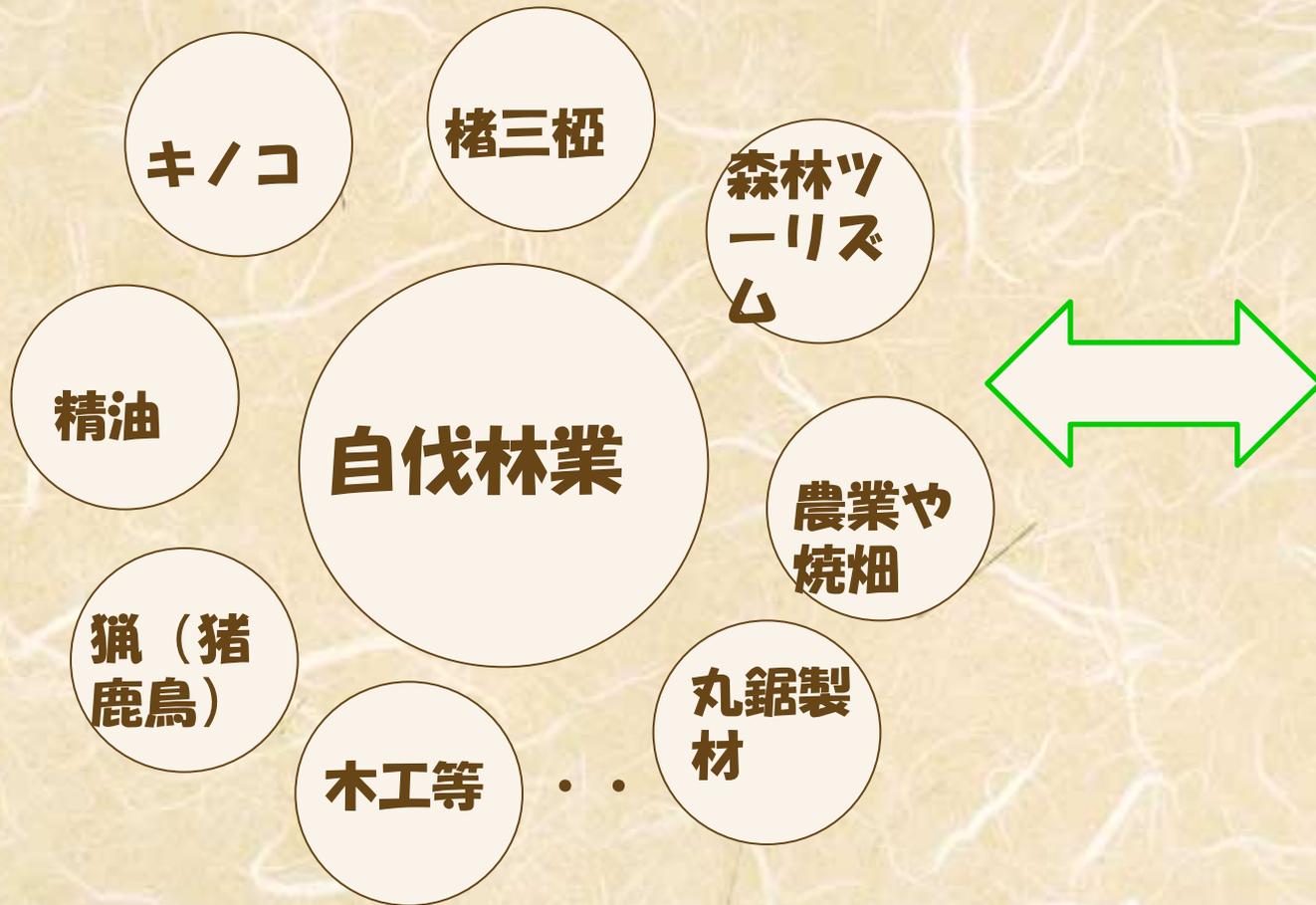
- 2) 大規模山林分散型**

大山林所有者（個人・企業・自治体・国）の山を自伐林業できる単位に分散化して経営

- 3) 個人型：従来の家族経営**

中山間地域の生業スタイル

(このスタイルの地域住民50万人が誕生)

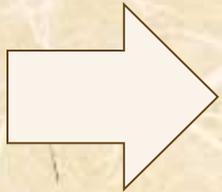


マニアックな市場が形成され、
新たな流通システムが形成される

自伐林業を核にした百業スタイルが成立

森の多目的活用により、新たな地域産業、流通システムが誕生

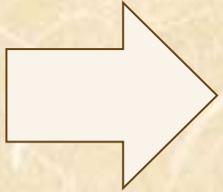
自伐
林業



既存木材産業維持発展
エネルギー利用の拡大
自伐林業機械メーカー急増

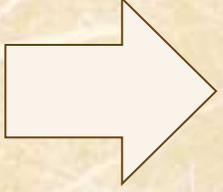
精油

獺（猪鹿鳥）



シカ肉流通の拡大、ジビエ料理等
新たな化粧品流通等

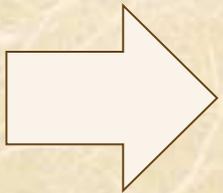
丸鋸製材



マニアックな大工の増加
新たな日本家屋の展開

キノコ

楮三椏



伝統産業の復活
マニアックのレストラン等

マニアックな市場が形成され、
新たな流通システムが形成される